

第142回 東葛しぜん観察会

手賀沼湖畔に自然を訪ねて

龍門海行（柏市）

日 時：2017年11月12日（日）9時30分～12時 天候：晴

場 所：手賀沼湖畔（我孫子市）

参加者：一般 20名（子ども 2名含む） 指導員：16名

担当指導員：小島、坂部、龍門

観察当日は数日前の天気予報だと、あまり期待の持てない状況であったが、本番当日は暖かな晴となり、スタッフ一同笑顔でJR成田線東我孫子駅から9時40分にスタート。今回は参加者数の関係で3班編成とし、子ども女児2人（小学1年、保育園児5歳）を含めての観察会となった。

まず初めに、今も残る旧水戸街道の「一里塚」跡の碑と現状の周辺景観との対比をし、歴史ある地であったことを説明。次に現在は新しき住宅地となってしまった街路を歩き、手賀沼湖畔に下る坂道まで移動。この住宅地は高台に位置し、手賀沼が一望できる場所でもある。

坂道を下り、手賀沼湖畔の「桜植樹プロジェクト」が展開されている桜遊歩道を歩くが、歩行者と自転車が共用のため、安全面で気を使う歩道でもあった。桜遊歩道と言うだけあって、各種サクラが植栽されていたが、十月桜が今が盛りとばかりに咲いており、参加者を喜ばせていた。途中ではアレチウリやヒムロ（サワラの園芸種）といった植物が有り、珍しがっている参加者が多く見られた。

その後、湖畔から再度高台にある「水神山古墳（前方後円墳）」を訪ね、当時の歴史を想像しながら古墳を見学。次に、高野山地区にある香取神社を訪ね、我孫子市の巨木である境内のイチョウ、クスノキをタッチし靈気を頂く。帰途にある階段下（参道下）の我孫子市での一番の巨木と思われるイチョウにもタッチしてみた。残念ながら樹高は雷の関係なのか、あまり高くないが見事な巨木に一同感心。

解散場所の「水の館」にてアンケートを頂き解散。桜の開花時期に再度来たいとの多数意見が有った観察会であった。



旧水戸街道一里塚



手賀沼でコガモの観察